

# 医薬分業の質の向上に向けて

薬剤師業務の「見える化」運動

(公社)日本薬剤師会

常務理事 永田泰造

## みなさまの薬の適切な使用のために

薬剤師は、安心・安全な医薬品使用のために様々な業務を行っています。  
メリットを実感していただけるよう、  
より丁寧でわかりやすい説明と業務を徹底します。

### 1 薬の専門家として、より安全で効果的な医療のために

患者さんとの対話や服薬の記録(薬歴)をもちに処方内容を確認し、必要に応じて処方箋に問い合わせ(薬歴照会)を行います。またその内容、結果を患者さんにお伝えします。

### 2 患者さんの医療費の負担を少なくするために

ジェネリック医薬品の使用促進に取り組みます。安心して使用していただけるよう、丁寧な説明とレポートを行います。

服薬状況を伺いし、飲み忘れや飲み間違いなどにより副作用がある患者さんには、薬師と相談の上、必要な薬の処方と変更をよう、調整いたします。

### 3 患者さんと医療関係者との連携のために

お薬手帳の情報を活用し、ほかに使っている薬や過去の情報を参考に、薬の飲み合わせや薬の内容を患者さんと一緒に確認します。

### 4 一般用医薬品等の適正使用とセルフメディケーション推進のために

薬を使用される方の体調などをお伺いし、適切な医薬品等の選択を支援します。また、場合によっては実地指導(医師の実験の助め)を行うほか、使用後のご相談など、継続的に対応いたします。

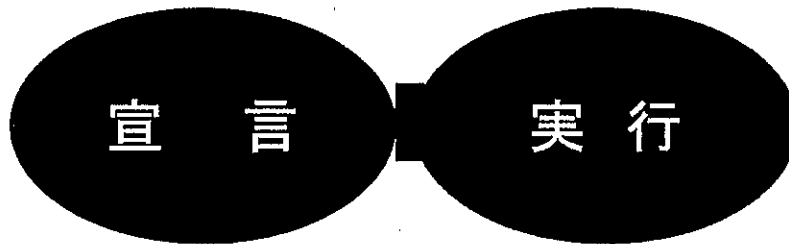
薬師と薬剤師が、それぞれ独立した専門的な立場から、患者さんのために、より安全で効果的な医療を提供することを目的として「医薬分業」が図られています。  
薬剤師は、薬の専門家という視点で、患者の処方内容を確認し、一般用医薬品も含め患者さんの医薬品使用を総合的に管理します。

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
http://www.pichlynku.or.jp

薬剤師から GET THE ANSWERS  
— 薬のことからわかる —

日本薬剤師会

## 薬剤師業務の“見える化”運動が 目指したもの



どれだけ「伝わった」のか？

 日本薬剤師会

## 薬剤師業務の“見える化”運動 都道府県薬剤師会の取り組み(実例)

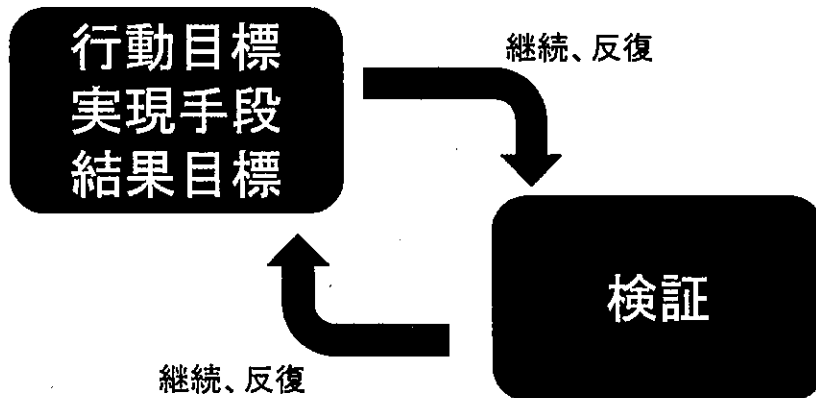
| プロセス     | 取り組み実例                              |
|----------|-------------------------------------|
| 宣言       | 広報、ポスター、チラシなど<br>例:「薬剤師の仕事とは」       |
| 会員への意識づけ | 講習会、会員誌、ファックス、<br>業務向上のための資料・テキストなど |
| 自己チェック   | 自己点検票、意識調査など                        |
| 他者の評価    | 住民アンケート、意見ハガキなど                     |
| 有用性評価    | 残薬調査、疑義照会調査など                       |

全国から報告いただいた資料から、特徴的な取り組み事例を医薬分業対策委員会で整理抽出し、都道府県薬剤師会にフィードバックさせていただく予定です。

新たな目標と実現手段の設定

 日本薬剤師会

# 薬剤師業務の“見える化”運動の今後



公益社団法人  
日本薬剤師会

## みなさまの と 薬の な使用のために

薬剤師は、安心・安全な医薬品使用のために様々な業務を行っています。  
メリットを実感していただけるよう、  
より丁寧でわかりやすい説明と業務を徹底します。

### 薬の専門家として、より安全で効果的な医療のために

患者さんとの対話や服薬の記録(薬歴)をともに処方内容を確認し、必要に応じて処方箋に記し合わせ(処方照会)を行います。またその内容、結果を患者さんにお伝えします。

### 患者さんの医療費の負担を少なくするために

ジェネリック医薬品の使用促進に取り組みます。安心して使用していただけるよう、丁寧な説明とサポートを行います。服薬状況をお伺いし、飲み忘れや飲み間違いなどにより投薬がある患者さんには、医師と相談の上、必要な量の処方とさせていただきます。

### 患者さんと医療関係者との橋渡しのために

方剤手帳の情報を活用し、ほかに使っている薬や過去の情報を参考に、薬の飲み合わせや薬の内容を患者さんと一緒に確認します。

### 一般用医薬品等の適正使用とセルフメディケーション推進のために

薬を使用される方の体調などを把握し、適切な医薬品等の選択を支援します。また、場合によっては受診勧奨(医師の受診の勧め)を行うほか、使用法のご相談など、随時対応いたします。

医師と薬剤師が、それぞれ独立した専門的な立場から、患者さんのために、より安全で効果的な医療を提供することを目的として「医療分業」が行われています。薬剤師は、薬の専門家という責務で、患者の処方内容を確認し、一般用医薬品も患者さんの医薬品使用を総合的に支援します。

公益社団法人 日本薬剤師会 (東京)  
<http://www.nichiyaku.or.jp>

薬剤師から GET THE ANSWERS  
—薬のことなら何でも—

公益社団法人  
日本薬剤師会

## 地域薬局の移り変わり

～平成初期頃から～ (医薬分業の急速な推進)

小規模薬局は調剤業務を中心にシフト



調剤専門薬局の増加

処方箋調剤 小規模薬局のOTC医薬品取扱いは縮小  
(医療用医薬品の在庫数増加)



薬局処方箋枚数月300枚以上の  
店舗の調剤売上:一般薬等販売比率 96%:4%  
(国民のイメージの2極化)

一般の薬局は調剤専門薬局  
ドラッグストアはOTC薬の供給場所

薬局・薬剤師による健康づくり・健康相談の業務・職能の低下

 日本薬剤師会

## 医師会からの苦言

- 指摘された概要
  - 新病院前の調剤薬局建設用地を合計14億円で落札
  - 移転先の門前を大手調剤チェーンが買い占め
  - 救急指定病院の周辺薬局は夜間・休日は休み
  - 面分業を目指して始まった医薬分業が点分業
  - M&Aでますます大型化
  - 大規模薬局の利益率は個店に比べはるかに高い(中医協資料)

## 実務実習における苦言

大変だった作業 (F 薬学臨床での例)

| もっと充実させるべき                                    | ちょっと待て   |
|---|--|
| 10年後の薬剤師業務を見据えた内容にすべき(在宅、チーム医療、フィジカルアセスメントなど) | 現行でも実施できない施設があるのに、責任が持てない<br>法的にグレイゾーンの内容を実習で？可能性の網羅よりも「コア」をしっかり |
| もっとできる、もっと進んでいる                               | コアカリは底辺の規定   |
| 実務実習以外の内容も、薬剤師業務との関連で採否を決めるべき<br>学生に夢を持たせる    | 大学教育なので学士力も求められる、専門学校ではない<br>学生は現場で理想と現実のギャップに直面している             |
| アナウンス効果 (他の医療人、国民)                            | コアカリの役割を超えている  |
| —   | 内容を増やしたら期間・実習費も増える   |
| アドバンストに入れると実施しない施設が出てくる。<br>詳しく記載しないと手抜きをする   | それがアドバンスト。コアカリは方略での質保証が目的ではない<br>それは別問題                          |

現状の実務実習の改善(レベルアップ、格差是正)は喫緊の課題

日本薬学会 新モデルコアカリキュラム説明会資料

日本薬剤師会

## 社会のニーズに対応できる薬局

### ◎日本再興戦略 戦略市場創造プラン

テーマ 国民の「健康寿命」の延伸


・予防、健康管理の推進に関わる新たな仕組み作り

「薬局を地域に密着した健康情報の拠点として、一般用医薬品等の適切な使用に関する助言や健康に関する相談、情報提供を行う等セルフメディケーション推進のために薬局・薬剤師の活用を推進する」

日本薬剤師会

## 施設基準 基準調剤加算(13)

- (13)「薬局の求められる機能とあるべき姿」の公表について(平成26年1月21日薬食総発0121第1号)の別添に掲げる機能について整備するよう努めること。特に次に掲げる機能について可能な限り整備するよう努めること。
- ア 薬学管理等の内容が他の患者に漏れ聞こえる場合があることを踏まえ、患者との会話のやりとりが他の患者に聞こえないようパーテーション等で区切られた独立したカウンターを有すること。
  - イ 一般用医薬品を販売していること。なお、一般用医薬品の販売の際には、購入される一般用医薬品のみに着目するのではなく、購入者の薬剤服用歴の記録に基づき、情報提供を行い、必要に応じて医療機関へのアクセスの確保を行っていること。
  - ウ 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、こころの健康づくり、飲酒、喫煙など生活習慣全般に係る相談についても応需・対応し、地域住民の生活習慣の改善、疾病の予防に資する取り組みを行うといった健康情報拠点としての役割を果たすこと。

 日本薬剤師会

## 今後の薬局像

薬局の求められる機能とあるべき姿(厚労科研)

薬局が備えるべき基本的体制

- (1) 受けるべき許可書等
  - 麻薬、高度管理医療機器等
- (2) 薬局の開局時間
  - 8時間以上の連続、休日・夜間の対応
- (3) 医薬品等の備蓄
  - 医療・衛生材料、介護用品、一般用医薬品
- (4) 構造設備
  - 広さ、パーテーション、クリーンベンチ、ネット環境
- (5) 地域医療
  - 地域連携(三師会等)、災害対応、注射針回収
- (6) 人的機能
  - 生涯学習、研修、管理者の資格(5年以上経験等)

## 今後の薬局像(2)

薬局の求められる機能とあるべき姿(厚労科研)

薬局における薬物療法(薬学的管理)の実施

- (1) 薬学的管理
  - 疑義照会、残薬確認、分割調剤、おくすり手帳、一般用医薬品
- (2) 在宅医療への取り組み
  - 在宅薬剤管理指導の実施、多職種連携
- (3) 後発医薬品の使用促進
  - シェア60%超
- (4) 健康情報拠点としての役割
  - 相談と窓口紹介、生活習慣全般に係る相談、介護支援専門員等資格
- (5) その他備えるべき機能
  - 副作用報告の実施(薬事法第77条の4の2第2項)

## 患者団体等からの苦言

薬剤師の役割と患者の意識のギャップ

- 判断を求められる状況で自己決定能力に疑問
- 指導手順による1から10までを順番に一方向的に説明
- 自分が説明したいことを優先する傾向
- 変更された薬の違いは化学式の違い?
- 予期しないことを聞くと口ごもる
- 臨機応変な対応能力に乏しい
- 跪き(ひざまずき)調剤(カウンターまで行きたい患者もいるのに)
- エンドユーザーが患者ではなく医師(医師に配慮しているような...)
- 疑義照会、患者には照会したことすら伝えてくれない
- 薬歴管理も疑義照会も患者に見えない(調剤室の奥の方の出来事)

## 利用者の声より (H25調査データ)

- 薬剤師の声かけがあれば、GEに変更しやすい
- GE新発売されたら声かけてほしい
- 全ての処方薬のGEの有無を教えてください
- 体調が悪いときの問診は医師と二重で辛い
- 調子の悪いとき手帳を持参する余裕がない
- 処方減の時「なんで減ったの？」感じ悪い！
- GEとは何でしょう。どんなものかわかりません

薬剤師が行う業務に関し、どうやら勘違いしているもの  
本来の意味のコミュニケーション能力  
個々の薬剤師の教授錯覚

日本薬剤師会

## みなさまの薬の適切な使用のために

薬剤師は、安心・安全な医薬品使用のために様々な業務を行っています。  
メリットを実感していただけるよう、  
より丁寧でわかりやすい説明と業務を徹底します。

**1** 薬の専門家として、  
より安全で効果的な医療のために  
患者さんとの対話や服薬の記録(薬歴)をともに  
処方内容を確認し、必要に応じて  
処方箋に問い合わせ(確認照会)を行います。  
またその内容、結果も患者さんにお伝えします。

**2** 患者さんの医療費の負担を  
少なくするために  
ジェネリック医薬品の使用促進に取り組みます。  
安心して使用していただけるよう、  
丁寧な説明とサポートを行います。  
服薬状況をお伺いし、  
飲み忘れや飲み間違いなどにより  
残薬がある患者さんには、医師と相談の上、  
必要は薬の処方と変更を、準備いたします。

**3** 患者さんと医療関係者との  
橋渡しのために  
お薬情報の情報を活用し、  
ほかに使っている薬や過去の情報を参考に、  
薬の飲み合わせや薬の内容を患者さんと  
一緒に確認します。

**4** 一般用医薬品等の適正使用と  
セルフメディケーション  
推進のために  
薬を使用される方の体質などをお伺いし、  
適切な医薬品等の選択を支援します。  
また、場合によっては  
受診勧奨(医師の受診の勧め)を行うほか、  
使用法のご相談など、随時対応いたします。

医師と薬剤師が、それぞれ独立した専門的な立場から、患者さんのために、より安全で効果的な  
医療を提供することを目的として「業務分業」が行われています。  
業務分業は、薬の専門家としての視点で、実際の処方内容を確認し、一般用医薬品も含め患者さんの  
医薬品使用を総合的にサポートします。

日本薬剤師会  
http://www.nichiyaku.or.jp

薬剤師が GET THE ANSWERS  
「薬のことを知ると便利」

日本薬剤師会



## 統一事業(ポスター)のポイント

- I. 疑義照会
  - 疑義照会の趣旨が患者にわかるように行う
- II. おくすり手帳
  - 患者と一緒に手帳を確認する
- III. ジェネリック医薬品
  - 変更したくない方の理由に即した丁寧な説明を行う
- IV. 残薬確認
  - 継続的に服薬コンプライアンスを確認する
- V. 一般用医薬品
  - 対面による情報収集に基づく医薬品選択と情報提供を行う

行動計画の内容は、単に皆様のコミュニケーションを  
促進するための手段やツールにすぎません